

2017年10月2日

住友理工、「APTA（米国公共交通協会）EXPO 2017」に初出展 ～北米市場での本格展開を見据え、鉄道車両用部品を紹介～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、米国・ジョージア州アトランタで10月9日（月）から開催される「APTA（米国公共交通協会）EXPO 2017」に初出展します。



鉄道車両用防振ゴム

環境改善や、人口増加に伴う公共交通機関拡充などの観点から、米国においても高速鉄道や都市鉄道などの鉄道分野は、今後ますます拡大していくと見込まれます。

当社グループでは、鉄道用品事業において、すでに生産を行っている日本、中国、フランスに米国を加えた、世界4極生産体制の確立を目指しています。近い将来の北米市場への本格展開を見据え、本展示会では、すでに同国内で採用いただいている鉄道車両用防振ゴムのラインアップを紹介し、米州地域の車両メーカーへの当社認知度向上を図ります。

<開催概要>

展示会名	APTA（米国公共交通協会）EXPO 2017
会期	10月9～11日
会場	Georgia World Congress Center
ブース No.	#3874

<展示品紹介>

>> 鉄道車両用防振ゴム

鉄道車両用防振ゴムは、鉄道車両の台車部分に取り付けられ、路面からの振動を大幅に低減し、乗り心地の向上に貢献しています。

当社の高分子材料技術により生み出された特殊なゴム材料と設計技術により、繰り返しの振動や過酷な環境にも耐える高い耐久性を兼ね備えています。

本製品は新幹線をはじめとする国内の鉄道車両をはじめ、海外の高速鉄道にも数多く採用されています。



軸ハリブッシュ



ゴムブッシュ

以 上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、エレクトロニクス、インフラ、住環境・健康介護の各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・安心・快適を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <http://www.sumitomoriko.co.jp/>